

令和6年度 江北町総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和6年6月27日（木）午後3時40分から午後4時30分まで
- 2 場 所 公民館2階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課】

番号	役 職	氏 名
1	課長兼学校づくり推進室長	本村 健一郎
2	課長代理	峯 清美
3	総務企画係長	稲富 俊介
4	学校教育係長	野田 あゆみ
5	主任指導主事	小宮 広明

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	課長代理	小野 政己
4	係長	淵上 和剛
5	主事補	古賀 優梨愛

4 議題

(1) 江北町の教育諸課題について

午後3時40分 開会

○開会（山中総務政策課長）

○挨拶（山田町長、山下副町長、浪瀬委員、溝口委員、重松委員、田中委員）

○議題（江北町の教育諸課題について）

【山田町長】

ありがとうございます。ということで、さっき浪瀬委員さんからもお話がありましたけれど、何かを持って言っているわけではないんですけど、実は、私が町長になる前から教育委員をしていただいているのは、もう浪瀬委員さんだけになっていますし、だからどうということではないですけど、自分自身も含めていろんなものは長くやるもんじゃないと正直思っているんですよね。そういう中で、2期というのが一つの目安で、3期は場合によってはお願いするということからいけば、今回浪瀬委員さん4期をお願いしているのは、いろんな江北町の課題というかな。これまでも携わっていただいたその継続性ということを私なりに考えて、ぜひここまでいろいろな議論を一緒にさせてもらったので今期で一緒に目鼻をつけさせてもらいたいな。という思いもあってお願いをしています。本当は、辞令交付式の時にそういう話でもできたらと思ったんですけど、前後して、皆さんの前で申し訳ないですけど、そういう思いでご期待というか、お頼り申し上げていますので、ぜひまた改めてよろしく申し上げます。

それで、今日はさっき言ったように、何か具体的なことというよりも少し、現状の認識を直接教育委員さんと一緒にしたいなというふうに思っていたんですね。今回、6月議会はケーブルワンとか見たりされたんですか？よかったら、また、議会の議事録ができたりするので、ご覧になっていただければ、文字だとだいぶ違いますけどね。よかったら自分の所信表明の中でも少しそういう話をさせてもらいましたし、今回教育に関わる質疑もちょっとありましたから、ご確認いただければと思います。教育委員会の方から提供してもらいたいと思います。実はその中で、教育委員会の議事録を酒井議員さんが紹介されました。まだ見たこともありませんし、教育委員会でどんな話になっているのかっていうことを。よく知らないですけど、やっぱりそれを聞くとなんとなく、やっぱり教育委員会の事務局を通じた議会とかの質疑の総括とか、また現状っていう事と、も

しかすると自分の感覚とが少し違うところがないかなという思いがあつてですね。ぜひ少し間おかずにお話したいなという思いがありました。もう一つは、ご存知のとおり義務教育学校やっぱりどうするかっていうことは、町として大きなテーマだというふうに思っています。で、その議事録の中を少し拝見するとなんとなく自分がいいこと言っていたり、もしくは自分が変節をしたりして、教育委員会としてはこんなにやりたいのについていう感じにもしかすると、こう捉えられるとしたら、そこは自分の真意というか、もう直接申し上げたいなというふうに思ったんですよね。というのが3月議会でも義務教育学校の話になりましたし、今回6月議会でもそういう話になりました。でもし、このまま議会が終わってそのままにしておくと、たぶんまた9月議会で言われるんですよ。でその間、何をしたかっていう話になると、ちょっと結局なんかその膠着状態みたいな。別にそれがいいことではないのになんか結局、9月でも同じようなやり取りをしてしまうっていうのは、やはり最終的に町全体を預かる身としては、やはりそういう形で9月議会をむかえるというのは、例えば自分としては時間だけ経ってしまっているというふうに思っているんですよ。なので、今回6月、7月、8月と3回、9月議会までに定例教育委員会があると思うのでよかったら、集中審議ではないですけど、この3か月間で少しその教育委員会としてもその方針というか結論という考え方を少しまとめていただきたいなという思いがあつたんです。で、その前提として自分なりに今日は少し問題提起とか、自分の考え方を少し申し上げたいなと思っています。今回、6月議会の中で義務教育学校については土淵議員と酒井議員が質問をされました。ただ、それ以外にも実は教育に関しては一般質問があつて、池田議員がそのタブレットの活用のことを質問されたんですよね。で、どんな報告になっていたか知りませんが、私も議会の一般質問の通告を受けて教育委員会から初めて説明を受けたんですけど、その学校が、タブレットを持ち帰らせるかどうかっていうのは、学校の判断が一つあるんだろうと。ただ、その前提として教育委員会として学校の判断で持ち帰らせていいかどうかということを確認するっていうことがないと、もともと教育委員会はそれをしないと学校で持ち帰らせる、持ち帰れないと判断そのものがない。もちろん全部県内でも、持ち帰らせているところもあれば、持ち帰られてないところもあると思いますし、持ち帰らせているところもいろんな持ち帰らせ方があると思うんですけど。ただ、少なくとも教育委員会として、持ち帰らせてもいいというか、それを学校の判断でしていいと決めるってのは6月1日現在で江北町だけだったんですよね。っていうのは初めて知ったんですよ。で、もちろん学校の判断があると思いますけど、逆に全く判断できないわけですね。今思い返してみると、去年の年末からワールドカフェをやったじゃないですか。その時は交流とか体験とかいう言葉に合わせて、ITとかデジタルっていうことが上がっていたので、不思議だなと思ったんです。もしかすると、タブレットの持ち帰りだけではないですけど、おそらくそういう活動しているというか、やっぱり潜在的なニーズはあるっていう意味だったんだってことを初めて思ったんです。ご存知のとおり江北町は

おかげさまで将来推計人口、県内2位。合計特殊出生率県内1位なんですよね。で、全国48番となっているんですよ。で、こういうのって何か一つをやれば、決定的にそれが上がるんじゃないかと、町全体のいろんな取り組みの成果だと思っているし。もちろんイメージとかそういうのもとっても大事なんですけど、そういう中で自分はやっぱりタブレットの持ち帰りの判断を認めていない教育委員会が江北町だけだったというのは、正直めちゃくちゃ衝撃でした。で、例えば積極的に、認めないようにしようねと、まだ学校に判断させるのが早いよねっていうことも含めて自分がわかっていればですよ。もちろん議論に入らせてもらっていたらいいですけど、そういうこと自体正直知らない。それとか、例えば7月から始める子育てショートステイ事業、今の時点で、県内でショートステイ事業やってないのは江北と大町が出てくるんです。それとか、例えば適応指導教室。もうこれも数年来の件ですけど、まだできてないのは江北と大町だけ。ほかの市町は標準装備ですよ。まだできないですね。ていうのが、もちろん平均が良いわけじゃないんですけど、他の市町がやっていて、なんでうちがやってない？もちろんそういうのも分野にあります。ほかの分野でも、少なくともこれは、うちはしなくていいって意思決定をしてやってないならいいですけど、本当はしなければならぬとか、いつの間にかほかのところがやっていたとか。タブレットなんか多分コロナの時にみなさんいろいろ検討されたと思うんですよ。そして、必要に迫られて、多分認めてあるんですけど、やっぱりそうしないといけない時にすることをしていないから、そういうのが溜まっているわけですね。もちろんそれぞれの製品については、また議論していいと思いますけど、少なくともこれは事実としてそうなんです。で、学校の先生なんかは別に江北町だけで勤務されてないじゃないですか。あちこち行かれるわけですよ。ていうことを学校の先生じゃなくて、やっぱり教育委員会とか教育委員会事務局とかそういうところのハンドリングの問題じゃないかと自分ちょっと思っているんですよ。そこはその三つだけで判断しちゃいけませんけど。まあ、例えば教育委員会事務局の問題で、育英資金の貸付事業、これも数年来から監査から何度も言われていまして、まだ今のところ解決できませんし、それこそ体育施設の問題、B&Gのことどうするのかって。もしかすると教育委員会の中で「いや町長部局が、町長部局が」だとか言われるかもしれませんが、ゴールは町長部局にはないです。それと懸案だったトイレについても、いろいろ議会でも言われました。で本当にトイレがちゃんと整理するまで我々全員トイレを我慢する気持ちでしないといけないっていうぐらい町の代表者としては言ったんですけど、結局ずっと取り組みできなくて。そして外にあのみんなのトイレつくりましたけど。それはそういうことも実はあると思っているんです。で、更に言うと、例えば特別支援教室ね。これも今日はもうデータはいいですけど、県内で全校生徒に対して特別支援教室に通っている子どもの割合がどのくらい。それが県内でどのくらいの位置にあるのかとかですよ。もちろんものすごく興味があります。それと不登校とかいじめもそうです。それとか、あとは部活の地域移行。どこまで今進んでいるんですか？私、SSPの

委員をもう5年ぐらいやっていて、当時から言っていたんですよ。そんなアスリートの養成だけじゃなくて、やっぱり広げるっていうのは。うちなんかぜひモデル校にしてやって欲しいって言っていて、ほかのところは逆にモデル校になってやっているところもあるんです。それとかあと学力もちょっと心配しています。この前の議会で言いましたけど、今年の中1は多分県立中に行く子が少なかったんじゃないかなと思います。数字は、いまわかりませんが。もともと「いや、江北が良いから」って言って受けてないならいいですけど、もう受けても上がらないから受けてない子が多いとすれば、本当に江北の子供たちの学力はどうなっているんだろうかと思うんですよ。こういうことを心配するわけですよ。で、今申し上げたのは残念ながら町長部局で何かできるものじゃないです。もうまさに、ザ・教育委員会のお仕事なんですね。だから義務教育学校も当初はね、皆さん、トイレの話から改修の話からずっと進んできて、そしたら一緒にしないといけない。そんな中で今、義務教育学校があるっていうことが、皆さんと一緒にね、色々勉強させてもらいましたけど、それならば積極的な意味で義務教育学校しないといけないって自分は思うようになりましてけどね。ただ、だからといって今申し上げたような、いろんな課題はそっちに置いておいて義務教育学校だけどんどん進むってことは、自分はならないと思いました。前も言ったように公約ではあえて三つの方針について自分がもし、町民の皆さんに公約として約束できるとすれば、義務教育学校に移行するっていうことは、自分は新しい時代に必要だと思うので、それしか約束できないって。で、それも皆さん方は、知らないかもしれませんが、教育委員会とはずっとやり取りして、結果として私が公約であの時点で書けるのはそこだけだったということです。だから、「我々は知りません。びっくりしました。公約にあれだけしかなかった」っていうことではない。いや、もっと早くするんだったら、公約に自分の書くものが進みやすいですね。でも、それは自分の約束だから本当に約束できるだろうかって書いてしたのは義務教育学校移行しか書いてない。ていうことですので、それも書かない。書けない。ていうことも言いましたけれど、なんかそのこの間のあのやりとりを聞いているとなんか、その自分が止めているみたいなことになっているのはちょっと違う。「なんかガンガン今から町長部局に予算をしていますから、みたいな事書いてあって。いや、そんな問題じゃないのは知っているはずなんだけどな」って自分なんか思うわけですよ。教育委員会に説明していると、そういう説明書とされる。で、何を言いたいかという、これはもう義務教育学校化するかどうかと関係なく、早くしてもらおうことなんですね。こういうことって今言っているようなことはもうすでにだいぶ遅れています。ほかの市町に比べて。それだしたら公約に書く時点では義務教育学校に移行することの中で、こういうのを解決するようにしたらどうかなって思っていたんですけど、今回の6月議会のいろんなやり取りとかを聞いていると、正直言うと義務教育学校はさておいて、でも今言ったことは少なくともほかの皆さんがもうちょっと先頭集団じゃないですよ。まだほかのところと同じぐらいのことまでは先にしないといけないんじゃないかなっていうふう

に、思っていますね。それこそ施設一体型いくらかかるって報告言っていますか？80億ぐらいかかるって聞いているんですけど。最初議論したときは45億とか言っていたんじゃないかなというふうに。江北町の一年間の予算を知っていますか。70億もないです。そのぐらい大きなことですよね。で、もちろん必要だったらやりますし、それはどうにかしてでもしないとイケないけど、ただ作るのが目的ではない。なので、少なくとも今申し上げたようなことのいくつかが解決の道筋になる装置というか、舞台というかそうであるならば70億でもしないとイケないっていうふうに思うんですけど、どうしても今議会でも特別委員会を作ってあちこち見て新しい学校をみると綺麗ですね。だから結局やっぱりハードの話になってしまっ。でもそうじゃなくて、だからあり方検討会もしてもらったんですけど、やっぱりそうじゃないとすれば、義務教育学校のこととは正直言うと、去年トイレの時点で正直半分以上力が抜けた感じがしました。こんなことだったら早くやってくればよかったのに、しかもそれができるんだったら、そこは急いで義務教育学校とか言わんでもよかったと思いました。それが何で、これまで何年間もできてなかったかっていうことだけじゃないですよ、今申し上げたように。でその時も言いましたけども、前課長はいませんが、役場内にはいますけど、前課長もいます。どうしてももう自分の時が終わり、自分の時に何もなければほらなんていうかな？やっぱり最後まで責任を持つっていうのは、自分もう八年やらせてもらっていますけど、最初から議論しています。浪瀬委員さんもその前から関わってくれていますし、皆さん方も関わっておられますから。やっぱり我々が今日ここに座っておられる皆さん方と一緒に、やっぱり将来に責任を持つことでやっていかないとダメだなという思いがあったので、事務局はもちろんしてもらわないとイケないけど、だから本当に大事なこれからの三ヶ月間だと思っていて、9月議会にどう臨むか？ていうことを思っているんです。なので、もちろんまたあり方検討会して決めたとけて。で、いや憲法調査会などで決まっているならどうにもできないけど、あり方検討会もいろいろこっちのほうから委員会でも開いてつくらないとイケないじゃないですかって言ってやってもらったことだからです。だから私、変節したつもりは全くないんですけど、ただ深く考えれば考えるほど進んでいけばいくほど多分他にしないとイケないことがあったり。そうじゃないとあんなのがそのまま人って義務教育学校の学校建物だけ作ってからってこっちの方思い出せないことだと思う。だから前は多分勉強会があつていたりしていなかったですか？いろいろデータの状況があるんですかね？で前も言ったように、多分、教育委員さんというのは、教育委員会の中における議員さんだと思います。だって本当に義務教育学校化するかどうか、教育委員会にかけて承認をとらないとできないんじゃないかなってんですかね。だから実はけっこう責任重大だよなと思ってね。なので。浪瀬委員さんの再任とかもやっぱり3ヶ月間でまた9月から。議会だけじゃないです。今度は来年度の予算。もう考えないとイケない時期だからこれからどういう風に進めていくかという基本的なところがやはり合意しないと。また来年も教育委員会事務局が言うと思いま

す。いや、うち予算の要求したんですけど、町長査定で落とされたですもんね。落としますよ。今のことは何もできないの？でそれも言いました。ただ落とすわけじゃないです。そうじゃなくて、こういうことをしなければいけないのではないかと、もしくはこっちが先じゃなかったって。それを、しかもやっぱりそういうハード先行にならないようにならないようにしているのに、事務局のもまたハード先行の意識になってしまっているんです。なので、できれば9月6日ぐらいが今度9月議会なんです。8月の多分28日ぐらいがまた8月の定例教育委員会になるんじゃないかなと思うんですけど、だいたい議員さんは議員例会って月一回、21日前後に集まっておられるんです。なので、自分の感覚で行けば8月21日だと思いますけど。8月の議員例会、9月議会の直前のそのときに、やはりこの義務教育学校とか、今の教育の課題に対してもやっぱり考え方を、その議員例会の中で議員さんたちに言った上で議会望むっていう形にせんといかんと考えてですね。そのためには、たぶん8月28日の教育委員会が少し前倒ししてもらったらいいかとか、定例教育委員会はその時やってもいいですけど、総合教育会議はすこし前倒ししてもらったほうがいいのかなとかいう風なことを思っています。で、今のところ6月、7月、8月というふうには、3回にしていますけど、なんていうかな。毎回なんか自分も相手ということを色々ですね。今、申し上げたようなことを自分は現状認識として、それでちょっとひとまずその教育課題のことは別として、そもそも、義務教育学校がこうですね。義務教育学校をつくるかつくらないかゼロから考えれば、するかしないかって二つ選択肢があるわけですよ。義務教育学校化するかしないかゼロベースで考えれば、する時によく一体型だと言われたりしますね。今回したような一体型じゃない義務教育学校もあるんです。連携型とか分離型とか。現実中高一貫の連携型で、もっと離れますよね。するとした場合にどっちでやるかっていう選択肢があると思います。ゼロベースでできるんですよ。そして令和10年の4月にするっていうのが、まあ今がこれですよ。義務教育施設一体型がまあ当然これ80億かかるんじゃないですかね。今これだけ言っているんです。ずっとこのままで「町長査定で予算要求しているんですけど」って。でもさっき言ったような自分の問題意識でいたときに一つは、仮に一体型にするとして本当に令和10年、これも、今回聞かれました。なんで令和10年4月なんですかって一般質問でなんて答えましたかね。合併特例債があるとか。その話をちょっとされて、以降にするっていうことが一つあると思います。まあ、じゃあいつかっていうことになるわけですよ。それと議会の中で少し言ったのは今のまま小学校と中学校の校舎があります。連携型って結構離れているんですよ。武雄高校と青陵中みたいなうちは考えによっては連携がとか分離型っていうのかという問題がある。玉屋の本館と別館も通路でつながって、どっちも玉屋ですよ。だから、もうこの分離型と言いがいいのかって考えると、これは建物を建てるとのことですよ。建築をするっていうことで、こっちの建物は今のまま建物建てない。まあ建てないでっていうかな。建てないで実は義務教育学校ちょっとできるんです。調べても

らいましたけど、まあそういう分離型とか連携型というのがあります。ただ、これはそれで、なんでわざわざ校舎があるときに、義務教育学校ってする必要があるのかっていう話があるんですね。ならしないっていう選択肢だって別になんか法律で決まっっていて、いつまでにこうしなければならないということになってないわけですから。自分はですね、連携型の中でももし令和10年4月っていうのがそんなに大事だったら令和10年4月にはまず連携型今のままでスタートして。そして将来的には、例えば何年後には一体型にしますっていうことだって考えられるんじゃないかなと思うし。ただ、もし建物は新しく一体型にしないんだったら、何をしないといけないかという、早く改修か。元々の懸案だった長寿命化に早く移らないといけない。計画立てて。そして、もし義務教育学校にしないということでも同じことです。それなら、はやく改修とか長寿命化をしないといけない。令和7年度なにをするかという、計画策定とか診断とかいうことを出さないことになります。でもこの前は違いますよね？もし義務教育学校をすることで令和10年を目指して連携型でまずスタートするっていうことだったら、これと合わせて今度は多分準備委員会を開いてしないといけないということになるだろうと思うし。全然来年度からしないといけないのどちがってくるんですよ。なので、どれにしないといけないのか。ていうことを今から議論して欲しいと思っているんです。で、必要な情報はもちろん、事務局がくれると思います。自分はさっき言ったように、これは約束できないなと思っています。じゃあどれがいいかっていうのは自分なりに思っています。言ったらいいのかな、どっちかなと思って。またそれでまた自分が言ったから、それについていうこともダメだなと思ってあえて言いませんけどね。色々あると思います。そもそも学校の老朽化に対応するために始まった義務教育学校の話なんだったら、トイレもまた6月補正でほかのところをすましてしましたし。一定の応急処置ができたならば、先ほど申し上げたような、まずは教育の諸課題を解決することに全力かけましょうと。そして、長寿命化は並行して計画はさっそく建て始めましょうっていう考え方もあります。ただ、義務教育学校っていうのは、これから新しい時代には必要な仕組みだと。だから義務教育学校は今のまま進めるけれども、建物は当面、今の形で使うからさっき言った改修とか長寿命化をやって。そして直すというか、一番大事なのはどっちにしてもさっきの教育のいろんな諸課題を解決することをしないといけない。それはどこをとってもしないといけない。でも義務教育学校にどこまでエネルギーを割くかということだと思います。ハードになれば、もしかして、もうみんなもちろん頑張っただけで多分またそっちのけになりませんかかって言いたいです。さっきの諸課題もう何年前の問題です。でさっき言いました。義務教育学校するかどうかとか、今たぶん教育委員会で決めないといけない、学校の学級の編成がどうするかとかいうことも含めてね。だから実は。色々言いますが、私じゃないです。最初、私ももちろん考えていますし、ぜひ同じような考えになってもらいたいなと思います。だからといってまた同じこと。いやいや、私たちは最初からこれって言いよるやんって言っても、私は承服できません。現状

を見れば。だからまずやっぱ課題の解決っていうことをやる前提で、その上で義務教育学校はどんな風にやったらいいのかっていうふうに考えて貰わないといけないと思います。ものすごく危機感があるんですよ。なので、今日はこうやって問題提起をさせてもらうところまでにしますので、よかったら次回は少し皆さん方、委員さんの考えを教えてくださいなあと思うし。その前の定例教育委員会では、少しデータみたいなものを、報告を受けてもらえたらなというふうに思いますし。その最終どんな形でまとめるとか、今、そこで最終決定じゃないにしても、やっぱりこれから年の後半、来年度は見た時の道がちょっと変わってくるわけですよ。どの道に行くかっていうのは。だから実は他人ごととは思ってられないと思いますけど、当事者だと思っています。自分も。でさっき言ったことをここにテーブル座っている皆さん方の当事者で、やっぱり今の時代に、こうやってこういう務めさせてもらっているものの、やっぱり責任としてやっぱここにもきちんとある意味蹴りを付けないといけないなど。言い方としては思っていて、そしてさっきのような、課題をやっぱり一つでも二つでも解決していることを早くしないと。ほかは進んでいますからね。ていうことは日常的に言っているんです。なので、ぜひ今自分はそういうことを思っているということを今日は知っていただきたいなと思います。同じじゃなくてもいいです。逆にその教育会議してから定例教育委員会してもらってもいいです。ただこれからのスケジュール感として、やっぱり9月議会の前には、ある程度我々としての腹案を持って臨みたい。さっき言った連携型。今のままあれがなんの変わるとかっていうことですが、結構自分は変わると思っています。今、やっぱり小学校の子供たちが中学校の場所使うなんてありえません。で、今回も特別支援教室の数が足りないと言っていました。で例えば1年生から9年生までいるんですけど、6年生までこっちじゃなくても、高学年になったら、5年生6年生になったら中学校の校舎で学習することもできるんじゃないかな。て、自分は思います。もちろん、学校の先生たちは、別々に職員室のあったらと思うかもしれませんが、ここは子どもたちにとってどうなのかって考えないといけないと思うし、先生たちもまた転勤するのでもずっといるわけではないんですよ。だから、自分はやっぱり連携型と今のままだったら連携型の方が多分出来ることが多いんじゃないかな。建物が建たないなら義務教育学校する意味ない。て極論すれば、そう思っている人もいますし、義務教育学校は建物を建てることって思った人も。酒井議員も少し誤解しているなと思ったんですよ。建物の建て替えがあるのかって？質問項目にあったけど、建て替えるところはどこもほとんどないですね。新しく追加で建てるものがあるとしても、だからそこに少し誤解されるんじゃないかと思えますね。義務教育学校にしたら校舎が全部新しくなるみたいな。そんな風に誤解されているし、どちらかというと酒井議員さんは、そういうハードの話よりも、教育そのもののことを言われるのかなと思ったら、とてもハードなことを、そのあそこが古くなっている。ここが古くなっているみたいなこと。いろいろちょっと違うかなと思いつつやり取りしていました。もう現場では見られないかな。

よかったら議事録を見てもらいたいと思いますし、そこに最初の所信表明の時、ちょっと一般質問の中で自分なりの考え方は申し上げました。次回ぜひよかったら少しこう。今日は問題提起させてもらいましたので、もしお考えがあれば、お願いします。

【溝口委員】

そもそも事の発端としては建物の老朽化。建替えをどうするか。小学校、中学校別々に立て直すのか。今の国の補助金は義務教育学校にしか出ない。もう作らないと出さないよ。というような話をしてきたんですよ。そしたら長寿命化して何年か後にまた建て替えの話が出るのなら今建てられるときに建て替えた方がというようなことだったんですよ。その中で義務教育学校にしなきゃいけないという流れだったんですよ。そもそも、建物を別々に今の校舎を使ったまま連携型とかするとすると単純に先生たちとかは現状と変わらないのではないかと。本末転倒だと思うんですよ。長寿命化のことも4、5年前に検討委員会を作って話し合ったけれど、結局途中で委員会が終わってから何も進まなかった。結局、長寿命化にしても仮設の校舎を建てて、小学校に例えば3、40億かかる、中学校にも3、40億かかる、結局同じぐらいかかるんだったら義務教育学校にする考え方は正しいのかな。と自分は、思います。

【重松委員】

長くなってしまいそうなのであれですけど、今溝口さんが言われたようなことを、教育委員会としては何回も議論してきたわけですね。今分かりやすいように書いていただきましたけど、その後、私たちもこの義務教育学校という話をさせていただいた時に、義務教育学校にする必要があるのか？今二つ書いていただいているところから始まったんですよ。結局なぜ義務教育学校という言葉が出てきたかっていうといま言われている。校舎の老朽化でそれをどうするかって、私が教育委員になった時にももう話が出ておりました。結局、予算組みを取られている中で、話は全部頓挫してしまって、元を返せばトイレの匂いの件も。工事が進まないままきってしまったわけですよ。で、そういうのをいっぺんに解消できるのがこの義務教育学校じゃないかっていうような考えで、教育委員会としてたどり着いて、予算が上がったかもしれないけれども、その国の補助があるうちにこのチャンスを逃してあと40年後50年後に小学校中学校を新しくする経済力が果たして江北町にあるのか。ていうところまでいろいろ議論したんですよ。やっぱそれだったらこのチャンスを逃してはいけないと。じゃあ、義務教育学校にするためには、どういうハード面だけじゃなくて、ソフト面を考えた方がいいのかっていう事であり方検討会っていう形になったと思うんですよ。なので、町長としてはもう一番上はないっていうような話をされたけど、私的にはもうこのチャンスを逃したらそれこそできないと思うので、期間的には非常に短いかもしれませんが、あの一番上の段階に戻って、話を進めていただければなと思います。子供たちのため、いろんな教育課題の

改善にもつながっていくのかなと思っております。

【山田町長】

繋がりますかね？

【重松委員】

教育委員になって、すぐの時も教育長は違われましたけど、教育支援センターを作りたいと言われたんですよね。で、じゃあなんでできないですかって、もう単純になった時は分からなくて、聞いたら、まず場所が。と言われたんです。場所がない。あの特別支援クラスの学校で場所がないっていう結局、場所がない場所がないで新たに場所を確保するとなると、お金がかかる。人件費もかかる。結局お金がないっていうことにしてどういう形か、もうそのまま話が切れていて、ずっとないまま。それが多分何年もきているんだと思うんです。施設一体型で大きい建物にして、その中に教育支援センターを入れるとか入れないのか、まだいろんな議論がなされるべきだと思いますけど。まあそういったことも解決の糸口になるのかなというところも検討会の中で色々話し、施設一体型で教育支援センターを入れるべきなのか、逆に違うところに作る方が子供たちのためなのかっていうような内容のいろいろ話して、まあ、そういう風になるとソフト面じゃなくて、ハード面の内容にもかかわってくるからといって、またソフト面に戻ったり、そういう議論はいろいろ重ねてはきたんです。

同時進行でやっていくしかないとは思うわけですね。そんなものだと考えられていると、それこそ前回の総合教育会議でも、いろいろ支援する話をしたじゃないですか。その時にこの話題になってもよかったのかなって私は思うんですけど、そうするとこの何か月間がまた時間がもう本当に経過がどんどん過ぎていくだけで間に合わなくなっていくんじゃないかっていう。懸念はしていました。なので、やっぱりいろいろ教育課題はありますけど、動きが悪い教育委員会もあるかもしれませんがやっぱ同時進行でそれも部活動の地域移行のことも含めてですけど同時進行でするしかない。

【山田町長】

今までやっていないんですよ。これから先は全部動かします。てできるんですかね。昨日今日言い始めたことじゃないです。義務教育学校も特別支援学校もそうです。あの自分は義務教育学校の前にやっぱりまずしないといけないことを先にした方がいいんじゃないですかっていう。で、もちろん子供たちのためですけど、いつの子供たちのためかで違いますよね。もちろん早くすれば、それだけ早く恩恵にあずかれる子が多いってことかもしれません。さっき言ったようにもともと校舎をどうするかの話からでた義務教育学校なので、変な話、校舎をしないなら義務教育学校もしないでいいっていうことですよ。今の言い方でいけば。

【重松委員】

義務教育学校にしないといけないですか？というような質問は何回もしました。

【山田町長】

義務教育学校にして、二つあったのを一つの学校にしないと交付金が降りないんですよ。だから、義務教育学校が良いっていうことになったわけですね。

【重松委員】

どうせならば、保護者、町民の立場として言うならば、子供がいるうちに新しくしてきれいな学校に通わせてあげたいと言う、単純に思う気持ちもあったり、自分の子供が通えないですけど、その下ずっと、これから先の子供たちが新しい学校に通ったほうがいいかなって言うのは単純に思いますけど、それをやっぱりこう支えていくのは町民なんですよね。だからその経済的理由って言うのは、町民にちゃんと説明していいんじゃないかと私は思います。だからこれだけ掛かるのでこの利用するチャンスを逃したくないって言う説明をしていいんじゃないというそういう意味でもこう今義務教育にすべきじゃないかって言うのを町民に説明して、まあ理解を求めて義務教育学校で新しくするって言う方向性で進んだ方がいいんじゃないかと私は考えます。

【山田町長】

そういう意味で行けば、今のまま行って義務教育学校したところで、さっき言ったような、しないといけないことが解決しそうな気がしないからですね。作ってきれいな校舎に入るとは思いますけど、それじゃダメなんじゃないかと。だからお金がかかることを言っているんじゃないくて、80億というのは町にとっては本当に大きな金額。みんなの公園でも5億か6億しかかかっていないことを町として集中してしないといけないときに、子どもたちのためとかぐらいのことでこの事業をやってはいけないと思っているんですよ。だって、目の前にいろんな課題があるわけですから。少なくともそれが解決できるって言う道筋になっておかないと。だから本当にこれを建てる事でこの課題は解決できるんだろうかって。逆に日々の中で通常の教育委員会の活動の中でしないといけないのもできていないんですよ。義務教育学校をするって言ってここにまた全力でかかってもらおうと、ここはおろそかになりませんかねということだから別に教育委員会がまあ回ってないとか進んでないって言うているんじゃないくて、やっぱり今現状を見ると、さっき言ったような今回のタブレットだったんですよ。いや、うちだけって。いやいやいや、何が悪いのってみんなて話し合っ、他のところはそれはね、認めることもあるかもしれない。江北町の教育委員会だけは未だ学校にその権利を出さないようにしようって言うてしているんですよ。知っていましたか。うちだけって。

【重松委員】

持ち帰れるようにしてはどうかという件は何度もしています。

【山田町長】

で、どうなったんですか。

【溝口委員】

教育委員会の会議のあり方っていうのを根本的に考えないといけないと思っているんですよね。部活の地域移行にしろ、タブレットにしろ、今日の会議で部活動の地域移行の話は出なかったんですよね。レジュメにもついていなかった。数か月前には視察にもいき、議題にもあった。その次の会議ではそのことには触れていなかった。進捗状況が分からないようになっていた。私たちも悪いのかもしれないのかもしれないけどだれもそのことについて突っ込まなかった。やっぱり課題があることに対して報告会とかすべしなくてもいいから、今の課題はやっぱり議論すべきところを会議としてやっぱりすべきだと思います。

【山田町長】

そうなんです。当時ながら、例えば町長部局は、自分が決めないと決まらないし、決めないといけないので決めています。もちろん反対もあってもしなないといけない。教育委員会全部じゃないですよ。もちろん予算は私が持っていたり、色々ありますけど、やっぱりそこは、今言われたように、どうするっていうことだと思うんです。だからそこをもちろん自分も一緒に考えさせてもらいたいし。そうしないと多分そのさっき部活の地域移行にしても、何にしても多分進まないですね。でも、形式的に言えばじゃあ、教育委員会で何を話しているのっていうのは、こんな話になるのは本意じゃないですか？我々が、当事者としてやっぱり考えて議論していればってことなんじゃないですか？これは問題提起ですから、私、自分の意見を押し付けるつもりないですけど、そういうことを今日は思っているし、本当ずっとそんなことばかりですよ。やっぱり自分の傘下でないものだから。でも一緒ですよ。いや町長部局に対して予算要求とかそういうのじゃないんじゃないかなと思って。だから良かったら、さっき言った今の課題みたいなこともやっぱり何があるよね？何があるよね？公約にも書きましたけど。自分なりに。たぶんこの課題になっちゃいますかっていうことは自分は思っています。部活の地域移行だけとっても結構労力がいらいます。さっきの特別支援の話だと、適応指導教室のことも一つ一つが結構なものなんです。それがずっとやってないのが今たまりにたまって。果たして義務教育学校も一緒に。「いや、今からしますよ」って。本当にできるかなと思うんですね。はじめて言っているわけじゃないです今の話は。なので、よ

かったら、また来月しましょう。この具体数字ももらえますし、よかったらさっきのお話も含めてどんなことなのかっていうことを来月は少し意見交換にさせてもらいたい。

【山中総務政策課長】

今日町長の方から提案があった次項についてまた来月、7月25日に定例教育委員会の後に準備しておりますけど、そのあと8月22日にも、また意見交換させていただきたいと思います。その際には、義務教育学校に対する考え方とか、あと諸課題に対する教育委員会としての考え方ということでできればと思っております。本日は、問題提起だけですけど、今後ともよろしくお願ひします。

○閉会（山中総務政策課長）